

会議録

会議名 (審議会等名)	第5期第2回相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通)		
開催日時	平成30年11月12日(月) 14時00分~16時07分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	17人(南区長、副区長、他15人)	
公開の可否	可	不可	一部不可
		傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会議の公開について</p> <p>3 報告 (1) 南区各地区まちづくり会議報告について</p> <p>4 議題 (1) 区別基本計画の構成等について (2) 南区基本計画の検討の進め方等について (現状と課題に係るワークショップ)</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>		

審議経過

主な内容は、次のとおり。(は会長、 は委員、 は事務局の発言)

1 開会

2 会議の公開について

(1) 傍聴の許可について

傍聴希望者なし

松下会長のあいさつの後、議事が進められた。

3 報告

(1) 南区各地区まちづくり会議報告について

資料に基づき、事務局から説明。

報告書については、区別基本計画にどのように反映していくか。また、地区ごとに重点的な課題が違うが、区別計画にまとめて取り込んでいくことは難しいのでは。

各地区から挙げた課題や対応策を踏まえて、区別基本計画のまちづくりの取組方針等に反映していく。また、区別基本計画や分野別計画を基に策定される実施計画への反映もしていく。

今回の計画期間で解決が難しい問題もあげているが、地域としては、この報告書に対して結果を望んでいる。結果があると、地域が活性化して、次の課題や対応策も出てくる。

次期の総合計画において、区別基本計画も含めて進行管理を行っていく必要があると考えている。

少しずつでも進んでいることがわかれば、区民も希望がもてる。

4 議題

(1) 区別基本計画の構成等について

資料に基づき、事務局から説明。

区別基本計画の中で、まちづくりの方向性とあるが、6年前に策定した区ビジョンとの関係はどうか。

区別基本計画の検討に当たっては、区ビジョンで定めた目標をベースに、区民会議で議論をしていただくことを考えている。

大きな枠としては、区ビジョンの内容をベースに検討を進めていくことで良いと思う。

(2) 南区基本計画の検討の進め方等について(現状と課題に係るワークショップ)

資料に基づき、事務局から説明した後、ワークショップを実施。

まちづくり会議からの報告書と分野の項目が違うがどのようにまとめていくのか。

区ビジョンをベースに検討をしていくため、ワークショップの分野については、区ビジョンに合わせている。最終的に基本計画としてまとめる際に、その分野を改めて整理する。

本日のワークショップに、まちづくり会議からの報告書は使用するのか。

報告書の内容に加えて、それ以外にも普段生活していて感じている課題を出して欲しい。

自分の地区の報告書の内容について課題をここで出さないと反映されていかないのか。

区別基本計画の素案の作成に当たっては、区民会議で出されるワークショップでの現状と課題の意見と報告書等の内容を踏まえながら作成する。

まちづくり会議で、多くの時間をかけて報告書を作成したので、しっかりと計画に反映すべきである。

市の全体の方針の話であるが、総合計画審議会で、地区ごとの課題や方向性を出す必要があると意見を伝えている。相模原市は小区役所制であり、区役所で色々対応することは難しい。相模原市は、地区ごとに違いがあるので、今後はそれぞれの計画を作り、事業を行っていくという方向になると考えられるが、その方向性自体がまだ市全体として確定されておらず、議論の途中である。

本日のワークショップでは、委員の皆さんが普段から感じている課題や、区ビジョン策定から6年間の状況、地区での議論などを踏まえて、意見を出していただきたい。

主な発表内容

【Aグループ】

- ・課題が多かったのは、地域活動と生涯学習であった。
- ・地域活動では、活動の担い手が少なく、特に最近の子育て世代に共働きの家庭が多く、参加したくてもできない、続かない、だからやめるという連鎖が続いているようである。
- ・生涯学習では、最近公民館の人气が高く、混雑して利用が出来ないことがある。

- ・近年、外国人の方が増えているので、外国人向けのガイドブックなど、情報提供ができるシステムをもう少し拡充していくと良い。

【Bグループ】

- ・伊勢丹の撤退の話があり、賑わいのあるまちが黄色信号になるため、中心市街地の魅力づくりが必要である。
- ・文化・スポーツについて、他市では駅のデッキなどでホームタウンチームの勝敗等の情報がPRされている。本市でも、取り組む必要がある。
- ・マンション開発等で作られる公園は、ただ小さな公園で、魅力もない公園ばかりである。
- ・本市は3つの区に分かれているが、区の権限や予算が少ない。区でやりたくてもやれないものが多くあると思うので、機能を強化する方が良い。
- ・もえるゴミの収集が週2回になり、夏場は困っている。

【Cグループ】

- ・伊勢丹の撤退に関して、跡地活用の課題がある。
- ・大学が多い割に地域に就職先が非常に少ない。
- ・大学に社会人向けの学部が少ない。これは大学の少子化対策としては必要な事項と考える。
- ・コンパクトシティがわかりづらい。
- ・道路事情が非常に悪い。県道51・52号線の混雑、狭あい道路、自転車事故等が課題である。
- ・区役所機能が弱い。
- ・空き家やごみ屋敷の問題が住環境を悪化させている。
- ・勝坂遺跡の整備をして、歴史的な価値をもっと上げる努力をする必要がある。

【Dグループ】

- ・地域同士の情報の共有が出来ていない。
- ・地域の子供の目線でのまちづくりに課題があり、地域への愛着不足に繋がっていると思う。
- ・少子化対策として、小中高一貫校を検討してはどうか。
- ・芸術のまちの構想はあるが、市民や市が何をするのかわからない。
- ・伊勢丹の撤退に課題がある。
- ・ふれあい牧場や酪農センターの設立による自然体験、酪農の拠点づくりはどうか。

- ・交通の利便性や道路の環境が悪い。また、道路上に覆いかぶさった樹木の管理に関する問題がある。
- ・市を愛する気持ちが重要であり、自分の生活が一番大事ではあるが、地域も大事にしていけば、自身の生活の向上も図れると思う。
- ・多くの人がある環境づくりが、市の発展や生活の向上に繋がる。

現在の区ビジョンを作成する際にもワークショップを行ったが、今回、印象的なのは、身近なことだけではなく、まちを作っていく区役所のあり方や地域のあり方ということに視野が広がっていることである。

次回も同じ方法でワークショップを行いたい。

5 その他

- ・委員から相模女子大学で行われるマッチングプロジェクトの紹介。
- ・委員からユニコムプラザで開催される「自転車を安全・快適に使うには？」セミナーの案内。
- ・事務局から次回の日程について、12月14日 午後2時から開催する旨報告。

6 閉会

坂本副会長の挨拶のあと、閉会

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	出欠席
1	安藤 晴 敏	公募委員	出席
2	飯村 和 道	女子美術大学芸術学部 教授	欠席
3	石井 正 彦	麻溝地区まちづくり会議 会長	出席
4	井部 弥 生	相模原市民文化財団 総務課長	出席
5	大木 恵	大野南地区まちづくり会議 会長	出席
6	大坂 理 智	南区若者参加プロジェクト実行委員会	出席
7	金森 巖	相模原・町田大学地域コンソーシアム 業務部部長補佐 市民・大学交流センター 所長	出席
8	嘉松 皓	東林地区まちづくり会議 会長	出席
9	草津 成	伊勢丹相模原店 総務部マネージャー	欠席
10	草薙 喜 義	相模原市社会福祉法人経営者協議会 会長	欠席
11	九嶋 俊 彦	相模原青年会議所 2018 年度拡大委員会委員長	欠席
12	坂本 堯 則	相模原市自治会連合会 会長	出席
13	篠塚 実希子	相模台地区まちづくり会議 副会長	出席
14	杉本 祥 一	相模原商工会議所 常議員	出席
15	鈴木 貴 市	相模原南交通安全協会 会長	出席
16	瀬尾 守 一	相武台地区まちづくり会議 会長	出席
17	田中美 加	北里大学看護学部 教授	欠席
18	中島 千 尋	相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会	出席
19	中村 方 子	相模原市民生委員児童委員協議会 会計	出席
20	原田 征 士	公募委員	出席
21	古田 政 子	子育て親育ち応援団with.cfc 副代表	出席
22	穂苅 健 二	新磯地区まちづくり会議 会長	出席
23	松下 啓 一	相模女子大学夢をかなえるセンター エグゼクティブアドバイザー	出席
24	森 逸 雄	大野中地区まちづくり会議 会長	欠席
25	横山 真 琴	公募委員	出席